



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 名

上場会社名 大成株式会社

コード番号 4649 URL <http://www.taisei-bm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加藤 憲司

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員コーポレート本部長

(氏名) 中島 武久

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 052-242-3223

平成28年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	11,073	12.3	265	493.5	298	209.2	185	113.2
28年3月期第2四半期	9,861	4.4	44	△50.1	96	△29.0	86	△32.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 155百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △8百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	36.83	—
28年3月期第2四半期	17.28	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	11,568	7,988	69.1
28年3月期	11,330	7,883	69.6

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 7,988百万円 28年3月期 7,883百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	6.1	320	872.1	400	254.7	200	184.1	39.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	5,369,671 株	28年3月期	5,369,671 株
29年3月期2Q	334,062 株	28年3月期	334,062 株
29年3月期2Q	5,035,609 株	28年3月期2Q	5,035,609 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用会社)は、前連結会計年度に中期経営計画「Road To Transformation」を開始し、当事業年度は2年目となります。引き続き、計画の骨子である組織改革、人材育成、技術力の強化に努めつつ、併せてグローバル展開を含む事業領域の拡大と効率性を追求し、持続的な成長を目指してまいります。

かかる状況下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上につきましては、中小規模物件を中心に新規の受託が進んだことに加え、前連結会計年度に獲得した大型受託物件および連結子会社化した香港のRazor Glory Building Maintenance Ltd.(以下、RG社)が期初から寄与したこと、堅調な随時売上、第3四半期以降に完工予定のリニューアル工事が前倒し計上となったことなどにより堅調な推移となりました。

利益面につきましては、前連結会計年度に獲得した受託物件の収益改善、当事業年度は新規大型受託物件が少なかったことによる立ち上げに関するインシヤルコスト(募集費、教育費、引継ぎ費用等)の発生が限定的であったこと、またグローバル事業展開にかかる費用(株式取得に関わるアドバイザー費用等)も一巡したことにより収益性は大きく改善し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は堅調な推移となりました。

結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高110億73百万円(前年同四半期比12.3%増)、営業利益2億65百万円(同493.5%増)、経常利益2億98百万円(同209.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億85百万円(同113.2%増)と増収増益となりました。

## ビルメンテナンス事業

## (クリーン業務)

クリーン業務につきましては、前連結会計年度に獲得した品川シーズンテラス、ジ・アートグレイスなどの大型物件や子会社化したRG社の売上および利益が期初から寄与したことに加え、名古屋市営地下鉄の契約更新による増床などにより、売上高は57億50百万円(前年同四半期比10.1%増)、営業利益は7億51百万円(同18.7%増)と増収増益となりました。

## (設備管理業務)

設備管理業務につきましては、東京ガーデンテラス紀尾井町、尾張一宮駅前ビル、シンフォニー豊田ビルなどの新たな物件を獲得しました。また既存物件の収益改善や堅調な随時売上による利益の増加により、売上高は22億42百万円(同9.8%増)、営業利益は77百万円(同260.2%増)と増収増益となりました。

## (セキュリティ業務)

セキュリティ業務につきましては、尾張一宮駅前ビル、名古屋センタープラザビル、東京日本橋タワー等の新規受託に加え、前連結会計年度に獲得した品川シーズンテラス、日本生命丸の内ビルの受付業務などの収益改善が、売上利益の両面に寄与しました。売上高は14億29百万円(同3.3%増)、営業利益は96百万円(同11.4%増)と増収増益となりました。

従いまして、ビルメンテナンス部門の売上高は94億22百万円(同8.9%増)となり、営業利益は9億24百万円(同24.8%増)と総じて堅調に推移しております。

## リノベーション工事業

リノベーション工事業につきましては、名古屋・東京地区共に大型の工事を受注いたしました。また第3四半期以降に完工を予定しておりました工事が、順調な進捗により当第2四半期会計期間内に完工となり前倒し計上となったこともあり、売上高は12億61百万円(同38.1%増)、営業利益は1億1百万円(同144.8%増)となりました。

## 不動産ソリューション事業

不動産ソリューション事業につきましては、新規に指定管理者物件の天白スポーツセンターを受託しました。また2基目となります太陽光発電事業を愛知県新城市にて開始したこともあり、売上高は3億90百万円(同31.3%増)、営業利益は12百万円(同109.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産115億68百万円（前連結会計年度末比2億37百万円増）、負債の部は35億80百万円（同1億33百万円増）となり、純資産の部は、79億88百万円（同1億4百万円増）となりました。

資産の部の増加要因は、売上の増加による「受取手形及び売掛金」の増加および期首に竣工しました新城市のメガソーラー設備取得による「有形固定資産」の増加が主な要因であります。

また負債の部の増加要因は、メガソーラー設備の取得に伴う「長期借入金」の増加によるものであります。

そして純資産の部の主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による「利益剰余金」の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月12日に公表した通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成28年11月11日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,655,205	1,363,542
受取手形及び売掛金	2,316,339	2,616,629
有価証券	120,489	194,158
商品及び製品	7,713	8,077
原材料及び貯蔵品	42,539	42,844
繰延税金資産	97,093	94,750
その他	46,629	58,019
貸倒引当金	△1,225	△1,400
流動資産合計	4,284,784	4,376,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,212,363	2,265,951
減価償却累計額	△1,417,488	△1,452,987
建物及び構築物(純額)	794,874	812,963
機械装置及び運搬具	777,156	1,076,451
減価償却累計額	△444,458	△481,888
機械装置及び運搬具(純額)	332,698	594,563
工具、器具及び備品	402,670	409,958
減価償却累計額	△308,519	△318,257
工具、器具及び備品(純額)	94,151	91,700
土地	1,279,950	1,279,950
リース資産	10,620	10,620
減価償却累計額	△6,372	△7,434
リース資産(純額)	4,248	3,186
建設仮勘定	140,532	59,836
有形固定資産合計	2,646,455	2,842,201
無形固定資産		
のれん	97,112	82,796
ソフトウェア仮勘定	—	4,568
その他	86,236	95,163
無形固定資産合計	183,349	182,528
投資その他の資産		
投資有価証券	2,432,477	2,367,657
差入保証金	264,192	253,983
退職積立資産	1,147,835	1,157,159
保険積立資産	107,112	105,686
ゴルフ会員権	154,558	154,558
繰延税金資産	19,819	27,643
その他	117,371	127,778
貸倒引当金	△27,435	△27,435
投資その他の資産合計	4,215,932	4,167,032
固定資産合計	7,045,737	7,191,762
資産合計	11,330,521	11,568,385

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	664,672	635,507
短期借入金	100,000	160,000
1年内返済予定の長期借入金	33,329	54,996
リース債務	2,124	2,124
未払金	17,529	8,887
未払費用	152,706	165,735
未払給与	910,948	882,413
未払法人税等	150,206	173,479
未払消費税等	207,206	167,834
賞与引当金	233,664	239,450
その他	115,631	110,374
流動負債合計	2,588,019	2,600,803
固定負債		
長期借入金	291,674	447,510
長期未払金	37,650	33,885
リース債務	2,124	1,062
預り保証金	28,696	29,795
退職給付に係る負債	213,473	191,648
役員退職慰労引当金	269,259	275,665
繰延税金負債	16,264	—
固定負債合計	859,142	979,566
負債合計	3,447,161	3,580,370
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	822,300	822,300
資本剰余金	878,137	878,137
利益剰余金	6,325,512	6,460,605
自己株式	△314,545	△314,545
株主資本合計	7,711,404	7,846,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183,887	173,087
為替換算調整勘定	△11,932	△31,569
その他の包括利益累計額合計	171,955	141,518
純資産合計	7,883,359	7,988,015
負債純資産合計	11,330,521	11,568,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,861,527	11,073,932
売上原価	8,732,304	9,641,457
売上総利益	1,129,222	1,432,475
販売費及び一般管理費		
役員報酬	90,663	93,423
給料	434,600	458,260
賞与引当金繰入額	50,858	60,377
役員退職慰労引当金繰入額	10,307	10,262
退職給付費用	10,803	12,597
賃借料	78,991	82,622
減価償却費	38,786	45,664
保険料	17,678	21,880
のれん償却額	—	4,581
その他	351,845	377,590
販売費及び一般管理費合計	1,084,535	1,167,261
営業利益	44,686	265,213
営業外収益		
受取利息	14,457	8,668
受取配当金	30,933	22,743
受取手数料	7,453	7,719
受取保険金及び配当金	3,159	2,531
持分法による投資利益	4,135	3,006
その他	1,779	2,057
営業外収益合計	61,918	46,725
営業外費用		
支払利息	1,490	1,421
支払手数料	4,459	4,525
為替差損	—	3,895
障害者雇用納付金	4,150	3,750
営業外費用合計	10,100	13,592
経常利益	96,504	298,347
特別利益		
投資有価証券売却益	5,303	1,104
投資有価証券償還益	59,920	—
受取保険金	—	372
特別利益合計	65,223	1,476
特別損失		
固定資産除売却損	1,073	96
投資有価証券売却損	—	10
投資有価証券評価損	6,934	3,041
特別損失合計	8,008	3,148
税金等調整前四半期純利益	153,720	296,675
法人税、住民税及び事業税	66,070	128,329
法人税等調整額	656	△17,102
法人税等合計	66,727	111,226
四半期純利益	86,992	185,448
親会社株主に帰属する四半期純利益	86,992	185,448

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	86,992	185,448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△95,415	△10,799
為替換算調整勘定	—	△19,636
その他の包括利益合計	△95,415	△30,436
四半期包括利益	△8,423	155,012
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,423	155,012

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	153,720	296,675
減価償却費	80,051	104,665
のれん償却額	—	4,581
持分法による投資損益(△は益)	△4,135	△3,006
貸倒引当金の増減額(△は減少)	38	174
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,274	5,827
為替差損益(△は益)	—	3,834
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△30,382	△21,212
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,087	6,406
売上債権の増減額(△は増加)	84,222	△312,175
仕入債務の増減額(△は減少)	△128,286	△28,023
支払利息	1,490	1,421
有形固定資産除売却損益(△は益)	1,073	96
投資有価証券売却益	△5,303	△1,104
投資有価証券売却損	—	10
投資有価証券評価損益(△は益)	6,934	3,041
投資有価証券償還損益(△は益)	△59,920	—
退職積立資産の増減額(△は増加)	△9,324	△9,324
保険積立資産の増減額(△は増加)	44,617	1,425
受取利息及び受取配当金	△45,390	△31,411
その他	△480,365	△53,192
小計	△382,145	△31,289
利息及び配当金の受取額	54,202	41,599
利息の支払額	△1,490	△1,421
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	34,454	△120,294
その他の営業外損益の受取額又は支払額(△は支払)	3,783	5,865
営業活動によるキャッシュ・フロー	△291,195	△105,540
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△28,869	—
有価証券の売却による収入	28,869	—
定期預金の払戻による収入	—	45,000
定期預金の預入による支出	△521	—
有形固定資産の取得による支出	△357,610	△289,378
有形固定資産の売却による収入	—	44
無形固定資産の取得による支出	△6,300	△25,226
投資有価証券の取得による支出	△2,882	△202,922
投資有価証券の売却による収入	64,351	118,943
投資有価証券の償還による収入	130,000	50,000
その他	△11,303	△12,488
投資活動によるキャッシュ・フロー	△184,267	△316,027

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	540,000	540,000
短期借入金の返済による支出	△480,000	△480,000
長期借入れによる収入	100,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△27,498	△22,498
セール・アンド・割賦バックによる収入	327,986	—
割賦債務の返済による支出	△281,751	△3,765
配当金の支払額	△50,151	△50,673
その他	△1,062	△1,062
財務活動によるキャッシュ・フロー	127,523	182,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△7,047
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△347,939	△246,613
現金及び現金同等物の期首残高	1,914,706	1,579,709
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,566,766	1,333,095

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューアル 工事業務	不動産ソリュ ーション業務		
売上高							
外部顧客への 売上高	5,224,264	2,042,633	1,383,747	913,461	297,420	—	9,861,527
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,224,264	2,042,633	1,383,747	913,461	297,420	—	9,861,527
セグメント利益	632,768	21,432	86,680	41,358	6,157	△743,711	44,686

(注) 1. セグメント利益の調整額△743,711千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューアル 工事業務	不動産ソリュ ーション業務		
売上高							
外部顧客への 売上高	5,750,871	2,242,018	1,429,265	1,261,358	390,418	—	11,073,932
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,750,871	2,242,018	1,429,265	1,261,358	390,418	—	11,073,932
セグメント利益	751,000	77,203	96,571	101,262	12,902	△773,726	265,213

(注) 1. セグメント利益の調整額△773,726千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。